

尼中Times

Contents

- ◆社会医療法人中央会尼崎中央病院
創立65周年のご挨拶
- ◆心不全について
- ◆尼崎連携シールについて
- ◆心臓リハビリテーションについて
- ◆下肢静脈瘤血管内焼灼術について
- ◆新任医師紹介
- ◆中央会イベント関連
- ◆中央会介護事業部のご案内
- ◆尼中健康講座



編集：尼崎中央病院 広報委員会

社会医療法人 中央会 尼崎中央病院
創立65周年のご挨拶



理事長
吉田 純 一

平成29年10月29日(日曜日)、
大阪のホテルで「尼崎中央病院創
立65周年記念祝賀会」を催すこ
とができました。

これまでの65年間を支えていた
きました尼崎市医師会をはじめ、
地域の診療所や病院、各大学の先
生方、また病院を支えてくださっ
た関係部署各所の皆様のおかげで
開催することができたものと感謝
しております。

また、当日は、多くの皆様から温
かいお祝いのお言葉や、励まし
のお言葉をいただきましたこと、心
より御礼申し上げます。

中央会が、皆様方からのご支援の
下、これまで数々の苦難を乗り越

えて歩んできた道のりを決して
忘れることなく、そして、これか
ら先も皆様方からのお力添えを
いただきながら、地域の皆様の
ために、安全で安心していただ
ける良質な医療を提供していくた
めに、職員一同頑張つて努めて参
りたいと思いますのでよろしくお
願い申し上げます。

また、本年3月には「中央会リハ
ビリデイサービスひびき」を開
設いたします。

中央会の方針として、「高度急性
期医療から慢性期、回復期、そし
て介護・在宅まで切れ目のない医
療・介護の提供に努めること」を
掲げておりますので、重ねてご支
援のほどよろしくお願い申し上げ
ます。



社会医療法人 中央会 尼崎中央病院 創立65周年記念祝賀会



心不全について



副院長
循環器内科部長

やすむら よしお
安村 良男

日本循環器学会専門医
日本内科学会認定内科医
日本心臓病学会FJCC
日本心不全学会評議員
日本高血圧学会指導医
日本不整脈学会
日本不整脈心電学会

循環器疾患においては冠動脈インターベンション、不整脈アブレーション、TAVIなどの治療法や慢性心不全、重症心不全に対する治療法がある程度確立したところです。近年、今後の我が国の人口構造、社会構造の変化とともに予測される超高齢化社会に向け、国策レベルで予防医学、在宅医療に重点がおかれているところであります。循環器疾患の多くは、「生活習慣病」を背景とし、「進行性」であり、決して「加齢」と無関係ではありません。高齢者では多くの場合、潜在性であれ、顕在性であれ「心不全」を合併しています。念頭においておくべき点は、心不全は進行性であるということです。例えば、一度心房細動が出現したり、心不全入院を経験したりすると入退院を繰り返すようになり、長期の入院を余儀なくされることがあります。一方、高齢心不全患者は高い頻度でフレイルや認知症などを含む「多くの合併症」を持ちあわせています。循環器疾患のハイリスクの患者様に対しては長期的な視野にたつて、一人一人の患者様にどのように医療資源、社会的資源を利用していくかという難しい問題に直面しているのが現状かと思えます。近年、心臓リハビリテーション、チーム医療、在宅医療、緩和医療が大きく着目されている所です。循環器治療において循環器医はまさに、総合的なマネジメント能力を問われている時代となっています。尼崎中央病院は介護老人施設を併設しており、来るべき高齢化社会の循環器診療に貢献していきたいと逐次準備をしております。今後ますます、開業医の先生方との密な連携が大切になっていくものと思われます。



当院の特徴の一つとして、救急診療に力をいれておりますが、平成28年度より循環器内科スタッフも増員し、さらに充実した診療に当たれるものと思っております。お気軽にお声をかけていただければ幸いです。なお、重症循環器疾患に関しましては、大阪大学や兵庫医科大学、国立循環器病センターなどと連携しながら患者さんにベストの診療を目指して頑張っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。



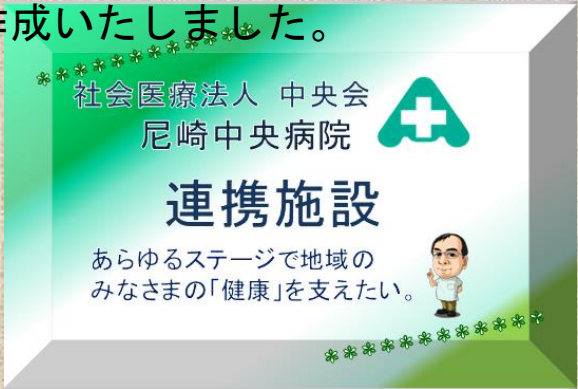
循環器内科 外来担当医

	月	火	水	木	金	土
AM	立石 吉田(千佳子)	吉田(純一) 立石 近藤	奥村 中村 今仲	奥村 吉田(千佳子)	吉田(純一) 安村 小林※	循環器医師 交替制
PM	吉田(純一) 小林※	安村		石原		

※心臓血管外科

尼中連携シールができました

「尼崎中央病院は連携シールないの?」「尼中も連携シールを作ってほしい。」など、開業医の先生方からたくさんのお声をいただき、このたび連携シールを作成いたしました。



この連携シールを見て患者様が「病院で検査や治療が必要になった場合、かかりつけ医が尼中と連携しているから安心」と思っただけのよう、しっかりと開業医の先生方と病診連携をおこなっていきたいと思います。ぜひかかりつけ医で尼中連携シールをみつけてください。また、「当院も連携シールがほしい」という開業医の先生方、ご連絡いただければ速やかにご持参致します！よろしくお願い致します。

心臓のリハビリで寿命がのびる！？

8月から心リハはじめました

「心リハ」とは、心筋梗塞や狭心症など循環器疾患の患者さんに対して行われる「心臓リハビリテーション」のことです。

当院では平成29年8月より、心大血管疾患リハビリテーション料Ⅰの基準を取得しました。理学療法士や作業療法士が、医師や看護師とチームになって心臓リハビリテーションに携わっております。



循環器医師の中村先生[㊟]と理学療法士の今村[㊤]を整備しています
心電図、エルゴメーター、AED、救急カートを



どんなリハビリをするの？

身体機能の評価を行い、ストレッチ体操やレジスタンストレーニング（筋トレ）、歩行練習、エルゴメーターやトレッドミルを使用した運動を医療スタッフの見守りのもとで行います。運動療法中には胸痛、不整脈、心臓発作などが起こる可能性がありますので、救急機器を整備するとともに心電図をモニターしながら運動を行います。

心臓リハビリの効果

- ◆ 運動能力が増加し、楽に動けるようになります
- ◆ 狭心症や心不全の症状が軽くなります
- ◆ 動脈硬化のもととなる危険因子が軽減します
- ◆ 血管が柔らかくなり、循環が良くなります
- ◆ 自律神経を安定させ、動悸や不整脈が軽減します
- ◆ 不安やうつ状態が改善し、快適な社会生活を送ることができます
- ◆ 心筋梗塞の再発や突然死が減り、死亡率が減少します



下肢静脈瘤血管内焼灼術 (高周波血管内カテーテル治療) を始めました

下肢静脈瘤は、足の表面から観察できるまでに発達するだけでなく、瘤内血栓・表在性静脈炎などの合併症を引き起こすことも知られています。日本では1,000万人以上が罹患しており、身近な疾患といえます。特に女性は男性の2倍の方が罹患しているといわれております。

当院では従来の治療法に加え、**カテーテルを使った新しい治療法である高周波治療**を開始することになりました。この治療法は痛みが少ない、傷口が非常に小さいなど、多くのメリットがあります。高周波による焼灼術は、欧米では良好な治療成績が報告されており、日本でも2014年に保険適応となりました。当院では、新たな高周波治療はもちろん、患者様の状態に合わせて治療法を選択し、できるだけ再発しないよう診断、治療を行っていきます。

当院で可能な治療法

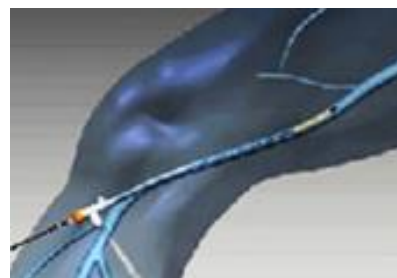
- 圧迫療法: 弾性ストッキングで足全体を圧迫し、静脈血の循環をサポート・進行を予防することはできるが、根本的治療にはなりません
- 硬化療法: 病変がある静脈に、注射で硬化剤を注入し、皮膚の上から圧迫して血管をふさぐ治療法で進行した症状には効果がない場合があります
- 高位結紮: 静脈を取り除かず、弁不全を起こし逆流している静脈を糸で縛り(結紮)防止する治療法
- 血管抜去術: 太く目立つ血管を抜去する治療法
- **下肢静脈瘤血管内焼灼術(詳細は下記参照)**

下肢静脈瘤血管内焼灼術(高周波血管内カテーテル治療)とは

高周波(ラジオ波)を血管内に挿入し、静脈そのものを焼いてふさいでしまう治療法です

○高周波カテーテルの治療法

局所麻酔を行い、2.3mmの細いカテーテルを挿入して血管を焼灼します



○利点

- ・身体への負担が少ない
(術後はすぐに歩行や日常生活も可能)
- ・傷口が小さい(カテーテル挿入部のみ)
- ・ご高齢の方や血液をサラサラにする薬を服用中の方でも可能
- ・合併症が非常に少ない治療法

○合併症

- ・色素沈着ができる場合がありますが、自然と消えていきます。



治療前



治療の3ヶ月後

治療期間と費用

◇治療期間

当院では安全性を考慮し、1泊入院で経過を診させていただきます。

◇概算費用:1泊入院(室料差額については別途必要です)

	1割	2割	3割
片足	25,000円	45,000円	65,000円
両足	40,000円	74,000円	108,000円

※患者様毎に自己負担割合が異なります。

下肢静脈瘤とは

健康な下肢静脈では弁が開閉して血液を心臓に戻すのを助けます。弁が損傷してしまうと血液が逆流して、足の下の方に溜まってしまい、静脈が膨らみやがて瘤ができます。このように下肢静脈瘤ができると下記のような症状が現れます。膨らんだ血管や瘤は自然に元に戻ることはなく、適切な治療が必要となります。治療をせずに放置しておくと徐々に悪化する恐れがあります。

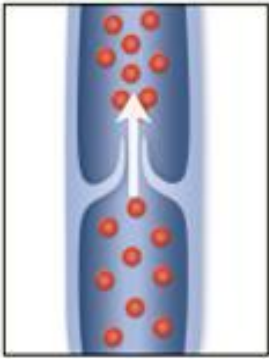
【症状】

- だるい・重い・痛い
- かゆみ
- こむらがえり
- 色素沈着
- むくみ
- 潰瘍
- 血栓
- 出血

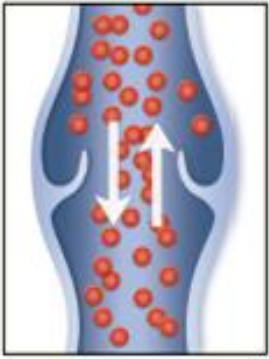
【静脈瘤の種類】



①伏在静脈瘤 ②側枝静脈瘤 ③網目状静脈瘤 ④くも状静脈瘤



健康な静脈弁
健康な静脈は血液を常に一定の方向へ流す



病変が生じた静脈弁
静脈弁に病変が生じると血液が両方向に流れるため静脈圧が上昇する

このような症状でお困りの方は
お気軽にご相談ください

心臓血管外科 診療時間

《担当医師》
心臓血管外科
小林 靖彦

	月	火	水	木	金	土
午前 (9:00 ~ 11:30)	／	／	／	／	●	／
午後 (1:00 ~ 4:00)	●	／	／	／	／	／

新任医師紹介

放射線科

医学博士
放射線科部長

やまの としこ
山野理子



日本医学放射線学会放射線診断専門医
日本乳癌学会認定医
検診マンモグラフィー読影認定医
日本医学放射線学会研修指導医
日本医師会認定産業医

平成30年1月より兵庫医科大学放射線科から赴任いたしました山野理子です。院内および他院からの紹介患者様のCTやMRIなどの画像診断を担当しております。診療放射線技師、看護師、受付の皆と一緒に、安全・迅速な検査の施行、正確な診断を心がけていきたいと思っております。よろしくお願い申し上げます。

内科

医学博士

とみた のりこ
富田紀子



日本内科学会認定内科医
日本循環器学会認定循環器専門医
日本医師会認定産業医

昨年11月より内科に赴任しました。専門は循環器で、主に心エコー検査に従事しておりました。今後は、周りの先生方やスタッフと連携をとりながら、患者様に対して退院後のことも含め総合的に適切な診療ができるよう努力してまいります。よろしくお願い申し上げます。

リハビリテーション科

お あみ
呉 雅美



日本リハビリテーション医学会
リハビリテーション科専門医

1月から勤務させていただくことになりましたリハビリテーション科の呉です。患者さまご家族さまを支えるメンバーの一人としてお役にたてればと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



脳神経外科

おづの いっとう
尾都野 一刀



平成29年10月より尼崎中央病院 脳神経外科にて勤務をさせて頂くことになりました、尾都野 一刀と申します。

以前は伊丹市にある近畿中央病院脳神経外科に勤務しておりました。脳卒中、脳腫瘍、頭部外傷など脳疾患全般に診察させて頂きます。特に脳卒中は、発症から初期対応までの時間が患者様の機能予後に大きく関わるため、脳卒中が疑われる患者様がいらっしゃいましたら、いつでもご連絡頂けましたら幸いです。今後、少しでも地域の皆様のお役に立てるよう頑張りますので、一層のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

中央会イベント関連

『救急の日』イベント

平成29年9月2日(土)

当院と尼崎市救急隊との連携で、「救急の日イベント」を開催しました。

救急業務及び救急医療に対しての市民の皆様の理解を深めていただくと共に、救急医療関係者の意識の向上を図ることを目的に「9月9日」は「救急の日」に定められています。

尼崎市東消防署員による尼崎市における救急搬送状況などの解説。その後、参加者の皆さまには当院看護師による心肺蘇生法やAEDの使用法などを体験していただきました。



健康フェア

平成29年11月18日(土)

あまがさきキューズモール3階レンガの広場で開催しました。

尼崎中央病院では年に2回程度、町の健康相談フェアを実施しています。

町の健康相談フェアでは測定コーナー(身長、体重、体脂肪率、血管年齢、骨密度など)や医師による講演会、医療や介護などの相談を行っています。

当日は、兵頭 英出夫 医師による「冬が来る前に～インフルエンザ対策」の講演が行われ、健康フェアの参加者は158名の方が来られ大盛況に終わりました。





夏休み子供見学会

平成29年7月26日(水)

『夏休みこども病院見学会』を開催しました。

5歳～11歳までの20名のお子様に参加していただきました。リハビリ室や病棟を見学し、薬局や画像診断室では、薬剤師や放射線技師のお仕事についてお話を聞いていただき、救急室では心電図検査を体験し、その後救急車の試乗体験もしました。体験コーナーでは、様々なブースを設置して色々な体験をしてもらいました。ギプスをしての松葉杖や車椅子での移動、顕微鏡で色々なものを見たり、赤ちゃん人形を使っの沐浴体験をしたりしました。短い時間でしたが、今後もこのような楽しんでいただけるイベントを企画していきたいと思っています。



高校生看護体験

平成29年8月22日(火) 『高校生看護体験』を開催しました。

尼崎中央病院では、兵庫県立尼崎小田高校の看護医療・健康類型の学生さんが病院見学や看護体験に来られています。



今年も、将来医療系の職種に就きたいと考えている1年生が病院見学に来られています！

リハビリ部門、薬剤師、放射線技師、栄養士、検査技師、看護師より仕事内容の説明を聞き、病院内の見学をして頂きました。看護師の仕事がどんなものかを理解したうえで、一人でも多くの学生の夢が現実のものとなるように応援したいと思います。



介護老人保健施設 ローランドの紹介



概要

平成8年、介護老人保健施設(老健)ローランドは、尼崎中央病院の9・10・11階に併設され、平成19年に現在の潮江2丁目に新築移転しました。通所リハビリ54人/日(1階)、入所126人(2階は一般棟、3・4階は認知棟)の利用者に対し、介護スタッフ62名、リハビリスタッフ15名、栄養士1名、相談員4名、薬剤師1名、看護師20名、医師3名(非常勤含む)が連携してサービスを提供しております。



平成24年からは訪問リハビリを開始し、現在3人の専属スタッフがフル活動しております。

平成25年にショートステイローランドが別棟に開設したことを期に短期入所を止めました。

平成23年から看取りを始めました。尼崎の老健の中では唯一積極的に看取りをしている施設です。自然看取りに限定しておりますが、毎年平均12人(6~22人/年)の方が施設で安らかな最期を迎えられています。多死社会に向け、医療機関からはもちろんのこと、今後は在宅からも看取り目的での入所を受けていく予定です。介護施設での看取りは時代のスタンダードと考えております。

特徴(何にも特化せず地域の在り様に自然体であること)

当施設は認知棟を有するという以外特徴はありません。普通の老健です。強いて言えば、何かに特化するのではなくバランスのとれたサービスを提供できる施設でありたいと考えております。

疾病や加齢、認知症により身体機能が低下してきた方には通所や訪問でリハビリを受けていただきます。入所に関しては入院後の療養とリハビリ目的で医療機関から入所されるケースがほとんどですが、身体機能の低下や認知症の進行、介護者の高齢化・介護疲れなどの理由で在宅から入所を余儀なくされる方もいます。老健のリハビリは最初の3ヶ月間は集中的に回数を増やして行えるため、状態の改善がみられ在宅に帰れる場合は可能な限り家庭に戻っていただいております。入所者に医療が必要なときにはそのチャンスを逃すことなく医療を提供(施設内治療または医療機関紹介)し、反対に不要な医療は排除し医療過多にならないように努めております。終末期を迎えられた方には施設で看取りを行い、生活環境を変えず最期まで過ごしていただいております。

在宅から看取りまで、切れ目の無い全人的な対応でその人の生活を支援すること、地域の在り様に自然体であること、それこそが老健の社会的役割であると考えております。目標レベルにはまだまだ到達できておりませんが少しでも地域に貢献できればとスタッフ一同日々努力を続けております。潮江にあります老健ローランドを何卒宜しく願ひ致します。



介護老人保健施設ローランド
施設長 津 本 剛 秀

住所: 尼崎市潮江2-1-10 電話番号: 06-6499-8500

介護老人保健施設 なにわローランドの紹介



高校生介護体験

高校生の皆様に、一日介護体験をして頂きました。
家族の事、将来の事を考えるきっかけになってもらえたら嬉しいです！



自立支援

自立支援の一環で、利用者様が自由に運動出来るスペースを設けました。
それぞれのタイミングでリハビリをして頂いています。
皆様のお気持ちをサポート出来る工夫を今後も考えていきたいです！



尼中健康講座 & 健康フェアのお知らせ



尼中健康講座

H30. 平成30年4月7日(土) 14:00~15:30

- ・**下肢静脈瘤とその治療** 講師: 心臓血管外科部長 小林 靖彦
- ・楽しい健康体操 担当 外来看護師

H30. 平成30年6月9日(土) 14:00~15:30

- ・**股関節の様々な病気とその治療** 講師: 副院長兼整形外科部長兼股関節センター長 大園 健二
- ・股関節の運動 & 健康体操 担当 外来看護師

どなたでも参加できます。当日参加OK。お子様づれでもOK。
座席の準備をいたしますので事前申し込みをお勧め致します。

※お問合せは 尼崎中央病院 地域医療室 直通 06-6499-3047
代表 06-6499-3045

日本医療機能評価機構認定病院

社会医療法人 中央会

尼崎中央病院

●認定医教育施設、教育関連施設

日本内科学会 日本血液学会 日本消化器病学会
日本消化器内視鏡学会 日本循環器学会
日本高血圧学会 日本糖尿病学会
日本外科学会 日本整形外科学会
日本麻酔科学会 日本眼科学会 日本大腸肛門学会

●関連施設

- ◇介護老人保健施設ローランド
- ◇介護老人保健施設なにわローランド
- ◇短期入所施設ショートステイローランド
- ◇認知症対応型通所介護センターえがお
- ◇中央会訪問看護ステーション
- ◇ホームヘルプステーションローランド
- ◇中央会リハビリデイサービス ひびき
- ◇ケアプランセンターローランド
- ◇ケアプランセンターなにわローランド
- ◇尼崎市「小田北」地域包括支援センター



〒661-0976 尼崎市潮江1丁目12番1号

<http://www.chuoukai.or.jp>

代表TEL 06-6499-3045 FAX 06-6497-3196

地域医療室 担当者: 小国・古藤・辻口 直通TEL 06-6499-3047 直通FAX 06-6497-3296